

平成 29 年度
(2017 年度)

教育学部 学校教育課程

A O 入試学生募集要項

添付用紙（綴じ込み）

この要項には、次の本学部所定の用紙が綴じ込みで添付されています。

- ・ A O入試 志願票
- ・ A O入試 写真票・受験票
- ・ A O入試 自己推薦書
- ・ A O入試 自己推薦書 補足資料
- ・ A O入試 課題レポート（2枚）
- ・ 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
- ・ A O入試データ票
- ・ 払込取扱票
- ・ 連絡用住所シール
- ・ A O入試関係書類送付用封筒・長形3号封筒 3通
- ・ A O入試出願用封筒・角形2号封筒 1通

問い合わせ先

教育人間科学部 入試係 TEL. 045-339-3261

（平日：9:00～12:45, 13:45～17:00）

※電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

注意！！

試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など）や最寄駅（和田町、三ツ沢上町、横浜）で本学職員を装って受験生を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、被害に遭わないように十分注意してください。

目 次

I	教育学部学校教育課程 A O入試日程の概要	1
II	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
III	A O入試学生募集要項	3
1	募集課程・コース, 募集人員	3
2	出願要件	3
3	出願手続	3
(1)	入学検定料	3
(2)	出願に必要な書類等	4
(3)	出願書類受付期間	5
(4)	出願書類の提出	5
(5)	受験票の送付	5
4	本学における個別の入学資格審査	5
5	出願にあたっての注意事項	6
6	受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の事前相談	6
7	選抜方法	7
8	第1次選抜・第2次選抜の日程及び試験場	8
9	合格者発表等	8
10	入学手続	9
11	入学辞退手続	9
12	不合格になった場合に備えての一般入試への出願	9
13	その他	9

I 教育学部学校教育課程 AO入試日程の概要

Step 1

出願書類受付期間 平成28年9月8日(木)～14日(水)



Step 2

第1次選抜 平成28年9月30日(金)



第1次選抜合格者発表 平成28年10月7日(金)



Step 3

第2次選抜 平成28年10月22日(土)



第2次選抜合格者発表 平成28年11月7日(月)



Step 4

大学入試センター試験 平成29年1月14日(土)～15日(日)



最終合格者発表 平成29年2月3日(金)



Step 5

入学手続受付期間 平成29年2月6日(月)～10日(金)

II 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学部のアドミッション・ポリシー

教育学部では、小学校をはじめ、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を目指す意欲的な学生を求めています。

教育学部は、教育に関わる諸課題を総合的、かつ多角的な見地から理解するとともに、実践的・先進的な資質・能力を身につけた教員の養成を目的としています。

そのため、以下のような資質や能力を有する人を求めています。

- 学校教育に関心が高く、教員として子供の学びへの支援の方法を、能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する人
- 子供と共に未来を切り拓いていくために、高等学校までに身につけた知識・技能を現代的教育課題の解決に活用する力を有する人

以上の資質や能力をAO入試では7～8ページのような方法で評価します。

【教育学部の教育目標】

教育学部は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等、様々な教育現場の未来を支えるべく、多角的な視野と洞察力とを兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる次世代の教員養成を目指しています。

そのため、次のような教育課程の実施方針を掲げています。

- 教師として必要な知識と技能を学ぶ
- 教科学習の指導や特別支援教育の考え方を学ぶ
- 学校教育を取り巻く今日的な課題に取り組む
- 実践的な指導方法を学校現場で学ぶ
- 専門性を活かし教育的な課題に他者と連携して取り組む
- 教科の専門性と子供の状況をつかむ臨床力を身につける

以上の教育課程に基づく学習を基盤に、教育学部卒業時には次の資質や能力を身につけることになります。

- 小中高の学習の流れを俯瞰すると同時に、個別の発達に配慮しながら授業構想することができる能力
- 学校教育を取り巻く今日的な課題に対応できる能力
- 実践的指導力を高め、社会の状況に適応できる資質・能力

Ⅲ A O入試学生募集要項

1 募集課程・コース，募集人員

学校教育課程 教科教育コース	30人
----------------	-----

注1：学校教育課程には人間形成コース（教育基礎・心理発達・日本語教育），教科教育コース（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭科，英語），特別支援教育コースの3つのコースがあります。A O入試で募集するのは，このうち教科教育コースです。

注2：募集する教科教育コースの30人は，1年次の終わりまでに専門領域を決定します。この決定は本人の希望及び入学後の学習状況を基に行います。ただし，特定の専門領域を多数の者が希望したときには，選考試験を行います。

注3：A O入試においては，平成29年度大学入試センター試験を課します。

（科目等については7ページを参照してください。）

注4：合格者数が募集人員を下回ることもあります。

2 出願要件

次の基礎資格を有し，かつ，要件を満たす者

【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれらに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による「大学入学資格検定」に合格した者を含む）及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で平成29年3月31日までに18歳に達する者
- (4) 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，18歳に達したものと及び平成29年3月31日までに18歳に達するもの
「【基礎資格】(4)」により出願しようとする場合は，「4 本学における個別の入学資格審査」（5ページ）を参照してください。

【要件】

学校教員になろうとする強い意欲を有し，合格した場合は本学に入学することを確約できる者

3 出願手続

(1) 入学検定料

- ① 払込金額：17,000円
- ② 払込期間：出願書類受付期間（5ページ）に間に合うように払い込んでください。
- ③ 払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（A T Mは使用不可）
※ 土曜日・日曜日・祝日は払込ができませんので注意してください。

- ④ 払込方法：ア 本学部所定の「払込取扱票」を使用し、各票の「ご依頼人」欄には、志願者本人の氏名を記入すること
 イ 「振替払込請求書兼受領書」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受付窓口から受け取る際には、必ず受付局日附印を確認すること
 ウ 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担

注：本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトに掲載している『横浜国立大学入学者選抜における災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について』〔<http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html>〕をご確認ください。

(2) 出願に必要な書類等

志願票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください（志願票下部の大学入試センター試験成績請求票は切り離さないこと）。
写真票・受験票 写真 2枚（同一のもの）	本学部所定の用紙に、出願前3か月以内に撮影した、正面・上半身・無帽の写真（縦4cm×横3cm）の裏面に氏名を記入し、所定欄に貼付してください。
調査書等 ※「5 出願にあたっての注意事項」（6ページ）を併せて確認してください。	<p>① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者、及び平成29年3月卒業見込みの者は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成した調査書（厳封したもの）を提出してください。ただし、外国の学校より日本の高等学校等に編入学した者は、在籍した外国の学校（高等学校相当）の成績証明書も提出してください。</p> <p>② 外国において学校教育における12年の課程を修了（見込みを含む）した者は、修了（見込み）証明書〔資格（取得見込み）証明書〕及び成績証明書を提出してください。ただし、日本の高等学校に在学した期間がある場合は、日本の高等学校長の作成した調査書も併せて提出してください。</p> <p>③ 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び合格見込みの者は、合格成績証明書又は、合格見込み成績証明書を提出してください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、受験科目を免除された場合は、免除された科目の高等学校の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>④ ①～③以外の者は、修了（見込み）証明書〔資格（取得見込み）証明書〕及び成績証明書を提出してください。</p>
自己推薦書 自己推薦書 補足資料	<p>本学部所定の用紙を用いて、以下の点に留意し、志願者本人が1,000字以内で自己PRを書いてください。</p> <p>① AO入試で学校教育課程教科教育コースを志望する理由 ② 学校教員になることに対する熱意や適性</p> <p>なお、高等学校までの生活の中で小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう体験的活動等の経験があれば、「自己推薦書 補足資料」用紙にその内容を記述し、それを示す資料があればA4判のコピーを添付してください。</p>
課題レポート	<p>本学部所定の用紙を用いて、あなたが学校教員になって児童又は生徒に教えてみたいことを、以下の4点を必ず含めて、2,000字以内で書いてください。</p> <p>① どの学校種と学年のどのような指導内容をとり上げるのか。 ② その指導内容をとり上げた理由は何か。 ③ その指導内容を児童又は生徒がどのように受け止めると予想しているか。 ④ 児童又は生徒の受け止め方に対して、どのような対応が考えられるか。</p> <p>第2次選抜の個人及び集団面接試験では、課題レポートの内容を説明していただき、教育の今日的な課題等の質問に答えていただきます。</p>
振替払込受付証明書 貼付用紙	入学検定料17,000円を郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込み、受付局日附印が押された「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付してください。
AO入試データ票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください。
連絡用住所シール	住所、氏名を記入してください。

入学資格認定証明書	「2 出願要件【基礎資格】(4)」(3ページ)により出願する者は、「4 本学における個別の入学資格審査」(5ページ)に従って、この証明書を取得し提出してください。
入試関係書類 送付用封筒 (長形3号, 3通)	受験票及び合否通知を発送する際に使用しますので、長形3号の封筒(372円分の切手を貼付【速達用】、3通)に住所・氏名を記入してください(住所は必ず日本国内にすること)。

注1：外国の学校又は機関が発行した英語以外の外国語の書類については、その和訳文を作成し、併せて提出してください。

注2：書類の発行等に時間がかかる書類(外国の学校からの証明書等)を提出する場合は、各自で早めの手続きをしてください。また、出願書類については「第1次選抜」に用いますので、出願書類受付期間内に必ず提出してください。出願書類受付期間後は受理しません。

(3) 出願書類受付期間

平成28年9月8日(木)～9月14日(水)【9月14日(水)17時必着】

注：出願書類は郵送(書留速達)扱いのみ受理し、出願書類受付期間後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。ただし、9月13日(火)までの発信局消印のあるもの(書留速達)に限り、出願書類受付期間後に到着した場合でも受理します。

(4) 出願書類の提出

上記の書類は一括して、本学部所定の「AO入試出願用封筒」(書留速達)を使用し、本人が送付してください。

注：東日本大震災又は平成28年(2016年)熊本地震による被災の影響により、調査書の発行に支障がある場合には、出願書類受付期間前に教育人間科学部入試係まで相談してください。

(5) 受験票の送付

出願書類を受理した者に対して、「受験票」と共に「AO入試受験上の注意」を郵送します。

4 本学における個別の入学資格審査

「2 出願要件【基礎資格】(4)」(3ページ)により出願しようとする者は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、入学資格認定証明書を取得してください。

この個別の入学資格審査を希望する者は、本学入試課に返信用封筒(長形3号, 92円分の切手貼付)を同封のうえ、入学資格認定申請書(本学所定の様式)を請求してください。

(1) 審査要件【①～③いずれにも該当することが必要です。】

① 専修学校、各種学校その他の教育施設(学校教育法第1条に掲げるものを除く)において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位(2,590単位時間)相当以上【平成11年度以前の入学者にあっては80単位(2,800単位時間)相当以上、単位(単位時間)については、高等学校学習指導要領による】修得している者又は平成29年3月修得見込みの者

② 前号の単位(単位時間)には、おおむね国語(相当する教科を含む。以下の各教科において同じ)、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位(単位時間)を含んでいること

③ 18歳に達したもの又は平成29年3月31日までに18歳に達するもの

(2) 申請期間

郵送受付：平成28年8月31日(水)～9月6日(火)【9月6日(火)17時必着

書留速達に限る】

窓口受付：平成28年9月1日(木)～9月6日(火)

9:00～12:45, 13:45～17:00(土曜日・日曜日・祝日を除く)

(3) 提出書類

① 入学資格認定申請書(本学所定の様式)

② 調査書(各教科・科目の学習記録が含まれているもの)又は、最終出身学校等の卒業(見込み)証明書及び成績証明書

③ 出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類

④ 返信用封筒(長形3号, 申請者の宛先を明記し, 682円分の切手を貼付)

(4) 提出先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番8号

横浜国立大学 学務部入試課 (TEL. 045-339-3121)

5 出願にあたっての注意事項

- (1) 出願書類の内容の変更は認めません。
- (2) 出願書類に不備のないように十分に注意してください。出願書類に不備がある場合は受理しません。なお、提出された出願書類は一切返却しません。
- (3) 指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位修得証明書等を調査書に代えて提出してください。これらの証明書等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長からの発行できない旨の文書を提出してください。
- (4) 虚偽の申請、不正な申告等の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) A O入試合格者が入学手続受付期間内（9ページ）に入学手続を完了しない時は、そのA O入試合格者としての資格を失います。
- (6) A O入試についての不明な点は、教育人間科学部入試係に照会してください。

【照会先】 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 2 号

横浜国立大学教育人間科学部 入試係 (TEL. 045-339-3261)

6 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の事前相談

次の表に該当する者で、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願前に必ず教育人間科学部入試係に下記の様式により申し出てください。また、出願後に不慮の事故等で負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった者は、速やかに7ページの様式により申し出てください。

【申請・連絡先】 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 2 号

横浜国立大学教育人間科学部 入試係 (TEL. 045-339-3261)

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規則を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規則を必要とする程度のもの

(様式) A 4判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ
氏 名
生年月日
住 所〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志願する学部・課程・コース・出願する入試名
2. 障害の種類・程度
3. 受験上配慮を希望する事項・内容
4. 修学上配慮を希望する事項・内容
5. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容（期末試験等についても記入してください。）
6. その他

(添付書類) 診断書又は身体障害者手帳(写)，その他参考資料

7 選抜方法

(1) 第1次選抜

自己推薦書，調査書，課題レポートの評価と併せて，小論文試験を課して，それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。小論文は，附属学校で撮影した授業風景のビデオに基づいて課題を与え，論述していただきます。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対し，提出書類の内容を基に，複数の面接員による個人及び集団面接を行います。面接試験では，課題レポートの内容を説明していただき，教育の今日的な課題等の質問を行い，学校教員を志す者として，教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを個別及び集団内でのやりとりから総合的に評価し，第2次選抜合格者を決定します。

(3) 最終合格者決定

第2次選抜合格者に対して，平成29年度大学入試センター試験を課し，大学入試センター試験合計点(900点満点)が570点以上の場合に最終合格者としてします。

<大学入試センター試験の教科・科目>

国 語 「国語」

地理歴史 「世界史B」，「日本史B」，「地理B」

公 民 「倫理、政治・経済」

理 科 ①「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2

②「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1

③「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2
及び「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1

④「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2

数 学 「数学Ⅰ・数学A」

「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から1

外 国 語 「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1

から1又は2

①～④の
いずれか

地歴・公民から
2科目の場合，
理科は①又は②

地歴・公民から
1科目の場合，
理科は③又は④

「地理歴史」・「公民」から1科目の場合〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕

「地理歴史」・「公民」から2科目の場合〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕

〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕

＜大学入試センター試験配点＞

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計
配点	200	200(100)	200	100(200)	200	900

注1：「理科」で◎を選択する場合、同一名称を付した科目(例：「物理基礎」と「物理」など)の選択を認めます。

注2：「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で◎を選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。

注3：「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で④を選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。

注4：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」、「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

注5：外国語として英語を選択した者は、リスニングテストも受験してください。筆記試験 200 点満点とリスニングテスト 50 点満点の合計 250 点満点を 200 点満点に換算します。

注6：「地理歴史」・「公民」及び「理科」の配点について、「地理歴史」・「公民」の得点が採用された科目が1科目の場合は()内の配点で計算します。

8 第1次選抜・第2次選抜の日程及び試験場

受験者は、受験票・筆記用具・その他指示された用具及び昼食・飲み物等を持参のうえ、集合時間までに試験場に集合してください。

(詳細は、受験票送付時、第1次選抜合格者発表時に本人宛に通知します)

選抜	選抜期日	集合時間	試験場	試験内容
第1次選抜	平成28年9月30日(金)	午前9時	横浜国立大学 教育人間科学部	書類審査 小論文
第2次選抜	平成28年10月22日(土)	午前9時		面接試験

9 合格者発表等

各選抜の合格者発表及び最終合格者発表については、下記期日の13時頃、本学ウェブサイト[<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>]に合格者の受験番号を掲載します。また、受験者全員に合否を通知します。

電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

第1次選抜合格者発表日	平成28年10月7日(金)
第2次選抜合格者発表日	平成28年11月7日(月)
最終合格者発表日	平成29年2月3日(金)

※掲載期間は、合格者発表日からおおむね4日間程度です。

※第2次選抜合格者は「平成29センター試験成績請求票」の「**AO**国公立AO入試用」が必要になりますので、提出の指示があるまで大切に保管してください。

10 入学手続

(1) 入学手続方法と受付期間

合格者は「入学手続について」（最終合格の通知に同封）に記載してある入学手続を、郵送（書留速達）により下記の期間内（必着）に行ってください。入学手続受付期間内に手続を行わない場合は入学を許可しません。

平成29年2月6日（月）～2月10日（金）【2月10日（金）17時必着】

注1：入学手続には、「平成29年度大学入試センター試験受験票」が必要です。

注2：AO入試の合格者が入学手続を完了した時は、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う国公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般入試を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

(2) 入学手続に必要な経費

入学料 282,000円 【現行】

(3) 入学後に必要な経費

授業料 春学期分 267,900円 【現行】

秋学期分 267,900円 【現行】

（年 額 535,800円） 【現行】

注1：入学料及び授業料は、改定する場合があります。

注2：在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

注3：詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

11 入学辞退手続

特別の事情により入学辞退を希望する場合は、平成29年2月15日（水）までに「AO入試入学辞退願」（任意様式、合格者本人が署名・捺印したもの）を横浜国立大学長宛に提出し、その許可を得た場合に限り入学辞退が認められます。この手続をとらずに、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりませんので注意してください。

なお、入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないということのないように注意してください。

12 不合格になった場合に備えての一般入試への出願

AO入試出願者は、AO入試に不合格となった場合に備えて「前期日程」及び「後期日程」の合計2つの大学・学部にも出願することができます。

なお、その際は大学入試センター試験の指定教科・科目の受験等、志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

13 その他

(1) 入学検定料の返還

出願書類を受理した後は、次の①及び②の場合を除き、いかなる理由があっても払込済みの入学検定料は返還しません。

① 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学教育学部AO入試に出願しなかった（出願書類を提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合

② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

返還を請求する場合は、以下の①～⑤の項目を明記した入学検定料返還請求書（様式は問いません）を作成し、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、速やかに郵送してください。

①返還請求の理由 ②氏名（フリガナ） ③現住所 ④連絡電話番号 ⑤試験の種類

【送付先】 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号

横浜国立大学教育人間科学部 入試係（TEL.045-339-3261）

(2) 個人情報の取り扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- ① 出願者の入学試験成績及び出願書類に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。
- ② 国公立大学の分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合格者及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- ③ 上記①の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

(3) 学校教育課程における修学上の留意事項

学校教育課程は、教員免許の取得が卒業要件です。そのためには、介護等体験、教育実習等が必須となっています。これらの体験・実習を行うにあたり、入学後に「麻疹に対する免疫がある」又は「ワクチンを2回接種した」という医師による証明書類の提出を求めます。詳細は本学ウェブサイトを確認してください。 [<http://www.scedu.ynu.ac.jp/education/>]